

展示を楽しむ来場者
＝浜松市中区の静岡文化芸術大



浜松100年企業の技術 学生取材、展示で紹介

21日まで静岡文化芸術大

浜松市などで約100年にわたって活動する企業の技術などを紹介する「静岡県ものづくり文化展 浜松100年企業の世界」(静岡新聞社・静岡放送後援)が21日まで、浜松市中区の静岡文化芸術大で開かれている。文化政策、デザイン両学部の学生約25人が、ヤマハや春華堂など11社を取材し、ものづくりの魅力を伝えている。

三立製菓のチョコバットのラベルの変遷を紹介した

り、トリイソースに使用されている各国の香辛料、アイゼンが手がける車のエンジン部品「コネクティングロッド」などを展示したりして、来場者の目を引いている。

展示に足を運んだ同大文化政策学部の齊藤そらさん(19)と新田望結さん(18)は「浜松出身ではないが、県内企業の長年の努力を楽しみながら知ることができた」と話した。